

平成 29 年度 協賛一覧

渡敬(株)、川勝商事(株)、力ネリ(株)、藤井絞(株)、(株)あけ田、なをし屋、室町京正、染織工芸 熊谷、(株)桂商店、浅見(株)、仕立の店 藤工房、(株)京都キモノ・サービス、きのした、(株)栗山工房、(株)松寿苑、(株)多ち花、染匠 あめや藤本、上坂元七商店、栗田捺染、(株)ゆうび、(有)和晃苑、(株)むつろ、(株)安田、一瀬商店、丸太遠藤(株)、(株)北井、紫紺(株)、(株)丸装、平林きもの浸落店、菊地(株)、(株)きたつみ、(株)大塚、京都吳服青年会、工芸染匠 成謙、(株)赤木商店、(株)伊と幸、(株)市原龜之助商店、近江屋(株)、(株)大野録、京商(株)、京都小泉(株)、(株)京都西川、久保商事(株)、啓明商事(株)、三京(株)、大松(株)、高田勝(株)、千切屋(株)、千切屋治兵衛(株)、ツカモト市田(株)、(株)菱健、藤和(株)、(株)細尾、松村(株)、丸池藤井(株)、宮井(株)、やまと(株)、(株)ヨアケ、(株)ロマンス小杉、和光(株)、西陣織物産地問屋協同組合、西陣織物産地問屋協同組合青年部会、(株)川中、川村博商店、木村卯兵衛(株)、(株)高岡、(株)長谷川、京都織物小売共同組合、京都織物小売共同組合青年部、(株)日野屋、(株)ヒコヤ、小林吳服店、岩田吳服店、(株)パールトーン、(株)中山、(有)かたやま、京都友禅協同組合、京都友禅青年会議所、(株)米村染織、(株)日根野勝治郎商店、(株)美和、関谷染色(株)、安藤染工、万葉染織(株)、池田染工(株)、(株)菌部染工、(株)小糸染芸、(株)創作きもの松華苑、丸染工(株)、(株)京染せい山、橋本染工、(株)白木染匠、タケハナ染匠、中川正商店、木村染匠(株)、(株)あをい染所、三興染工、(有)藤沢刺繡、(有)いち川、(株)に志山染匠、京友禅高橋啓、藤理工芸(株)、(株)村山刺繡店、(有)染の三喜、染匠市川(株)、コマサン、京都工芸染匠協同組合、京都工芸染匠協同組合青年部、京都染色補正工業協同組合、京都染色補正工業協同組合青年部、染色補正 つとむ、お直し処 桔梗苑、京のきもの御手入処 土本、染色補正 橘田、着物お手入れ つじもと染色補正店、地直し家 やまさき由、(株)瀧花補正所、中西染織美整、藤井調整店、(株)都、ヤマキ織物(株)、帯屋捨松、河瀬満織物(株)、西陣帯地青年会

(順不同、敬称略、平成 29 年 10 月)

後 援

京都府

京都市

公益財団法人京都産業 21

財団法人京都和装産業振興財団

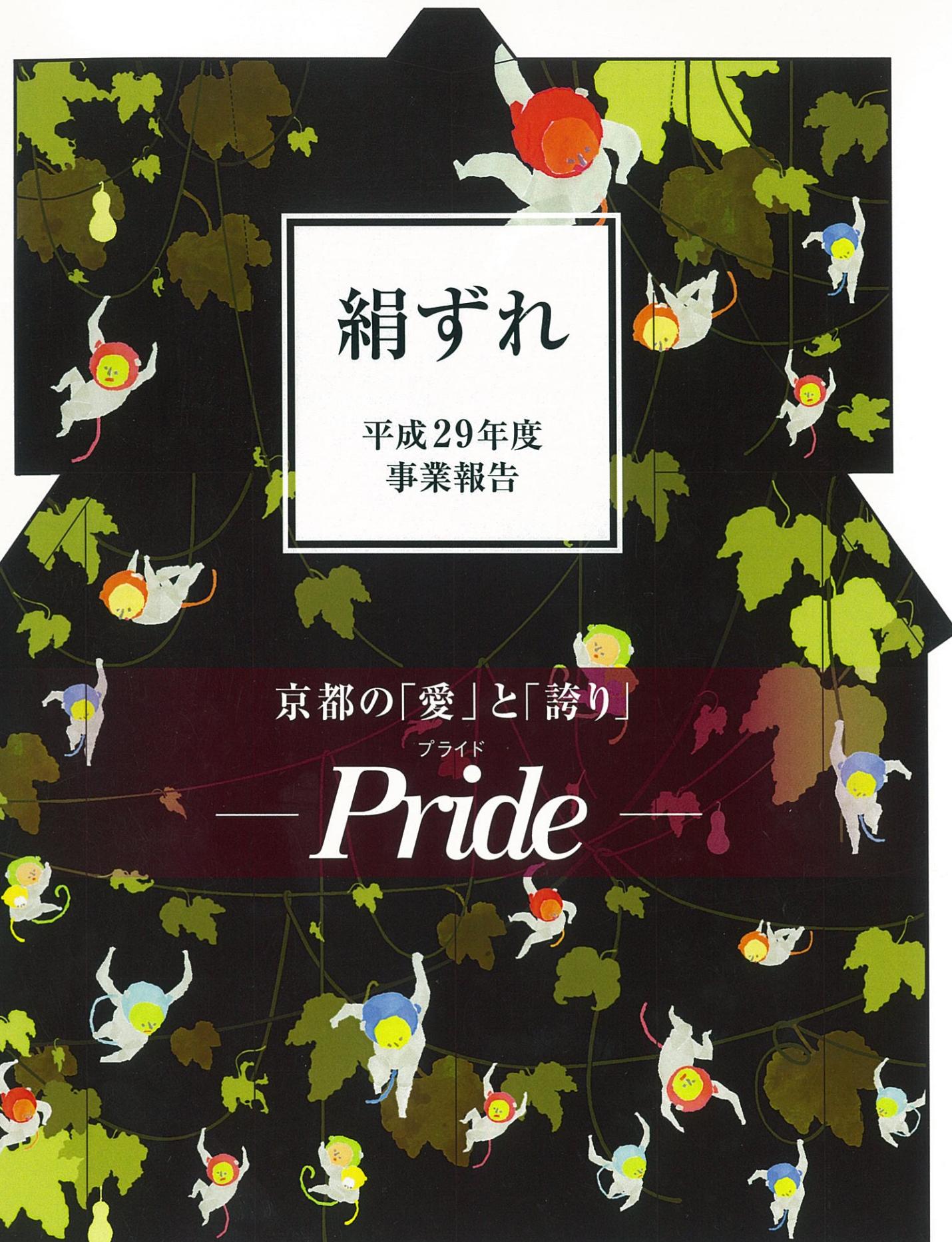


京都染織青年団体協議会

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る 丸池藤井ビル内

財団法人京都和装産業振興財団内 TEL.075(211)0605

<http://www.wasou.or.jp/kyogikai/>



ご挨拶

京都織物卸商業組合から出向し、平成29年度京都染織青年団体協議会の会長を努めさせていただきました、株式会社菱健の古川貴士です。

平素は当会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。平成29年度の京都染織青年団体協議会は「Pride」をテーマに一年間活動して参りました。みなさまのおかげをもちまして、大きなトラブル等もなく、素晴らしい一年間の活動を終えさせていただきました。また、私に会長という身にあまる大任を与えていただき、一年間努めさせていただく事ができましたのも、ひとえに平成29年度出向していただきました皆様のご支援はもちろのこと、京都染織青年団体協議会に加盟する団体の皆様や多くの関係各位のご支援ご指導の賜物であり、言葉に言い尽くせない程、感謝の気持ちでいっぱいございます。心より厚く御礼申し上げます。

私が年間テーマ「Pride」にさせていただいた理由は、和装産業界を取り巻く環境は非常に厳しい中、自らの仕事を愛し、我々の従事する和装産業界に誇りを持つことが社業ならびに和装産業界の発展に非常に大切であると考えたからです。そして、様々な視点を持つ会員が出向して活動することで、人材多様性の中でお互いを高め合う活動ができ、京都和装産業界の発展につながればと考え、一年間活動してまいりました。

平成29年度といしましては、加盟青年団体の総会的な位置付けであります「平成29年度会員大会」の開催、「鴨川納涼2017」での「友禅流しファンタジー」の実施、東京日本橋で行われました「きものサローネin日本橋2017」において当会としてのブースを出展、鹿児島への「研修旅行」の実施をさせていただきました。

平成29年6月8日に行いました平成29年度会員大会では、門川京都市長をはじめ多くの来賓の方々や、当会に加盟していない和装関連青年会の方々をオブザーバーとしてお迎えし、当会会員との相互交流を深めることができ、非常に有意義な会になったと考えております。

平成29年8月5日・6日に開催されました「鴨川納涼2017」では、京都友禅蒸水洗工業共同組合の皆様と連携し、鴨川納涼の一番の風物詩であります「友禅流しファンタジー」を実施いたしました。鴨川の水辺に映る幻想的な友禅流しの実演はご来場いただきました多くの方々に感動を与えることができたと確信しております。また、加盟団体のブース出店に加えて、当会に加盟していない和装関連青年会の中で事業に賛同していただいた青年会にもブースを出店していただき、大いに盛り上がることができました。加盟青年会の皆様には浴衣は夏の着物を来ていただいたことは、大きな和装振興になりました。非常に暑い中ご協力頂き、誠にありがとうございました。

平成29年10月6日・7日に開催されました「きものサローネin日本橋2017」では、COREDO室町地下1階の江戸桜通り地下歩道を貸し切り、「子供着物がある風景」のテーマのもと、子供の着物にスポットを当てたブースを出店いたしました。お宮参りから七五三、十歳(とせ)の祝い、十三参り、小学校の卒業式、さらには、子供向けの普段着の着物をボディに着せて展示しました。また、縁日ブースを設け、子供が着物を着て楽しむシーンを提案しました。

会員大会 6月8日(木) 京都ホテルオークラ



さらには、京都市産業技術研究所に協力を依頼し、バーチャル着物着装システムを導入し、着物を着る姿をディスプレイ上に写し出す技術も体験していただきました。



会場は、地下鉄三越前駅に隣接するコンコースであるため、サローネの来場客のみならず、駅を利用する一般の方々にも見ていただくことができたことで、大きなPRになったと確信しております。メンバーの満足度は昨年同様非常に高いものとなり、開催させていただいて本当に良かったと考えております。平成30年3月10日・11日に行いました「平成29年度研修旅行」では、鹿児島県を研修地に選びました。まず、太平洋戦争末期に特攻基地となつた「知覧特攻平和会館」を訪問いたしました。特攻基地から飛び立った隊員の方々の遺影や遺品、家族に宛てた手紙などを目にし、家族や後世のために命を捧げた特攻の歴史を学び、平和の尊さを強く感じることができました。続いて、江戸時代の薩摩藩別邸である仙巖園を訪問し、19世紀に西欧列強に負けない強く豊かな国づくりを目指し、当時の最先端技術を用いて産業革命を起こした事業である旧成館事業を学びました。日本の近代化・工業化発祥の地といわれ、世界文化遺産に認定された工場群跡は当時の最先端地として非常に興味深く、さらに薩摩切子工場を見学し、鮮やかな色彩と繊細なカット、独特の「ぼかし」のグラデーションが素晴らしい職人の技術が詰まった芸術品を観賞しました。さらに、鹿児島市維新ふるさと館において、西郷隆盛ら明治維新を支えた偉人たちの功績や幕末期の様子を様々な展示資料から学ぶことができました。当日は、着物を着用して研修を行ったことで、周囲から声をかけていただくことが何度もあり、大いに着物の魅力をアピールすることができ、和装振興の一助になったのではないかと考えております。今年度一年間行って参りました事業を通して得た多くの経験を元に、誇りを持ってこれからも和装振興に繋げていきたいと考えております。

私は10年以上前に出向して以来、久しぶりの出向で会長をさせていただきました。10年前と比べて、会員数も激減しておりますが、熱い気持ちを持ったメンバーがまだ健在です。私は、今まで和装産業界でお世話になった恩返しの気持ちで会長をさせていただきましたが、出向していただきましたメンバーに非常に恵まれ、現在、実施しうる最大限の事業をすることができたのではないかと確信しております。多くの仲間と出会うことができたことは私の大きな財産となりました。

最後になりましたが、ご支援ご協力を賜りました京都染織青年団体協議会の加盟団体のみなさま、関係団体のみなさま方に重ねて御礼申し上げますとともに、出向いただきましたメンバーのみなさまには一年間大変お世話になり、本当にありがとうございました。平成30年度は、京都染織青年団体協議会発足40周年という節目の年になります。今まで活動をすることことができたことへの感謝と、今後のあり方を考え良い1年になると存じます。今後とも倍旧のご支援ご高配を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

会長 古川 貴士



会長 古川 貴士



副会長 大塚 洋史



事務総長 藤澤 栄治

第一部では、藤井監事より28年度決算報告、片山監事より監査報告が行われました。その後古川会長より29年度事業計画について報告が行われました。

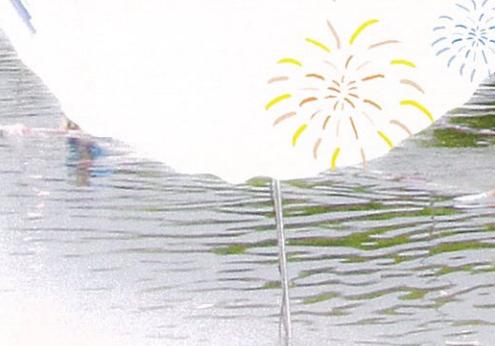
第二部では、門川京都市長ら来賓の方々ご臨席のもと、会員相互の交流が活発にされ盛大な会となりました。

会員大会委員長 池田 泰久

鴨川納涼

8月5日(土)・6日(日)

鴨川三条～四条間河川敷にて



今年度も去る8月5日(土)・6日(日)の二日間にわたり鴨川三条～四条間河川敷にて「鴨川納涼2017」に協議会和装振興事業として参加させて頂きました。

今年は以前協議会に所属して頂いてました西陣帯地青年会・京都染色補正工業協同組合青年部にも参加して頂きました。また出展者様には浴衣姿で参加して頂き和装振興を行って頂きました。加盟青年団体と協力団体との交流をもつことができました。今回も今では沢山のファンの方がいる「友禅流しファンタジー」を京都友禅蒸水洗工業協同組合のご協力で行いました。ご来場のお客様には楽しんで頂くことが出来たと思います。ただ、残念だったのが初日に行つた友禅流しファンタジーの2回目が天候不良で鴨川が増水し行うことができませんでした。ご来場頂いたお客様には申し訳ありませんでしたが早めの中止決定をし安全対策もできることもよかったです。

また、ご来場頂いたお客様には毎年続けてくださいね!楽しみにしていますと喜びのお言葉も頂きました。ブース出展に関してはそれぞれの個性のある出展をして頂き青年部同士の交流もでき今年度の出向者の紹介も一層深まったものになったと思います。

最後になりますがご協力頂きました皆様には感謝と御礼を申し上げたいと思います。
ありがとうございました。

鴨川納涼委員長 川崎 知保



きものサローネ in 日本橋

2017年10月6日(金)・7日(土)



今年第6回目を迎える『きものサローネ in 日本橋 2017』に去年に続き出展しました。着物の魅力を発進するとともに協議会の理念である『和装振興』を発信する事を目的と考え、これから日本の担う子供たちをターゲットにした設えにすることにしました。

展示内容は、現在子供たちの着装機会となっている、七五三や十三参り、ハーフ成人式の最近のトレンドに加え、普段着としての着物を50体展示するというものです。さらに、普段着物を着付け体験出来るようにし、それをより楽しんでもらうための動線として、縁日スペースを作り、射的やスマートボール、輪投げなどを楽しんでもらえるようにしました。



50体の着物はすべて各单青から集めることができたので、かなりクオリティの高い展示をすることが出来ました。立ち止まって見られる人が、思い出話をしたり、こんな着物を着せてあげたいといった声を聞くことも出来ました。すべての通過儀礼にきちんと説明文を付けていたので、その真意をきちんと伝えることが出来たのは良かったです。

縁日ブースでは、大人から子供まで屋台を楽しんで頂けました。また、写真映えがする事から約50人近くのお子様が着付け体験をされ、写真撮影をされていました。着物を、「見る」・「着る」・「楽しむ」。その三要素がすべて揃っていたからこそ、今回のイベントは大成功に終える事が出来たのだと思います。こういった結果からも協議会の理念でもある『和装振興』を発信することが出来たと確信しております。

また、きもの未来を考える上で、子供をターゲットにした取り組みの必要性を感じられたイベントになりました。

和装振興実行委員長 浅見 崇史

Kimono-salone

研修旅行

3月10日(土)・11(日)鹿児島県



今年度の研修旅行は、明治維新150年の節目を迎える年ということもあり幕末から明治維新、さらに先の時代においても激動の中心にあった鹿児島県にて行いました。第二次世界大戦末期の特攻の歴史を今に伝える知覧特攻平和会館にて、特攻隊員の方々が家族に宛てた手紙や遺品、遺影などを目にし、家族や後世を想い命を捧げた特攻の歴史を学び、戦争の悲惨さと平和の尊さを考え、実感する機会となりました。幕末の時代に盟主島津斉彬が西欧列強の脅威に対抗するため、当時の最先端技術を用いた紡績、大砲貯蔵、造船、輸出品として開発された薩摩切子の製造等、日本近代化の礎となる一大工場群を築いた「集成館事業」を工場跡地拠点でもある名勝 仙巖園にて見学しました。世界文化遺産にも認定された近代化遺産はどれも大変興味深く、日本の近代化をリードした斉彬公の先見の明には驚かされるばかりでした。

鹿児島市維新ふるさと館を訪れ、明治維新を支えた西郷隆盛らの功績や幕末期の様子を数々の展示資料から学びました。様々な困難を乗り越え時代を創った偉人たちの功績から、行く末を案じ信念を持って団結して行動することが時代を創る原動力となることを学び、我々協議会青年団体としても、先を見据えてより一層団結し事業等を行うことが、和装振興業界発展の礎になることを改めて研修の中から学ぶことができ、大変実りのある研修旅行となりました。

研修旅行委員長 山本 健太



京都染織青年団体協議会



京都染織青年団体協議会加盟団体

京都織物卸商業組合青年部 京都呉服青年会 京都工芸染匠協同組合青年部
西陣織物産地問屋協同組合青年部 京都友禅青年会議所 京都織物小売協同組合青年部

(順不同、敬称略、平成29年3月現在)

平成29年度 出向一覧

古川 貴士	(京都織物卸商業組合青年部)	川崎 知保	(京都織物小売協同組合青年部)
大塚 洋史	(京都呉服青年会)	浅見 崇史	(京都呉服青年会)
藤澤 栄治	(京都工芸染匠協同組合青年部)	和田 洋祐	(西陣織物産地問屋協同組合青年部会)
池田 泰久	(京都友禅青年会議所)	堀部 修次	(京都織物卸商業組合青年部会)
神志那 博司	(京都織物卸商業組合青年部会)	山本 健太	(京都呉服青年会)
東 孝幸	(西陣織物産地問屋協同組合青年部会)	藤井 浩一	(京都呉服青年会)
木村 芳次	(京都工芸染匠協同組合青年部)	片山 智之	(京都織物小売協同組合青年部)
赤木 南洋	(京都織物卸商業組合青年部会)	日根野 孝司	(京都友禅青年会議所)